

西根・松尾地区中学校統合にかかる住民説明会の主な質問・意見と回答(R6.11)

1. 建設候補地の選定について

質問・意見

7つの候補地から選定するのか。

違う提案があれば聞かせてほしい。説明する機会は、必要に応じて開催したいと考えている。

7つの候補地から選んでほしいとのことだが、8年も先のことでありもう少し市民の意見を聞くべきではないか。

学校統合検討委員会をこれまで数回開催している。委員には、PTA代表、地域代表、学校関係者、保育施設等関係者などに参加頂き、7候補地とした経過である。市民代表者の意見であると捉えていることはご理解願いたい。

7つの候補地からどのような方法で選ぶのか。

教育環境(安全で生活しやすい環境等)や整備環境(建設工事費が安く抑えられる等)などを優先した順位付け案を、学校統合検討委員会などに示し意見を頂くことにしている。

既存の学校を使う案はだされなかったのか。

西根中、西根一中は、築50年以上経過している。松尾中は小学校統合が絡んでいることなどから既存の学校をそのまま使うことは難しいと判断し、今回の提案となっている。

松尾中を使うことも検討してほしい。

松尾中を利用した場合の評価はしてみたいと思う。

小学校統合により空いた学校を中学校の建設場所にする案はどうか。

小学校統合は中学校統合より遅れている。仮に小学校が空いたとしても小学校と中学校では教室等の規格が違うので活用は難しい。逆に中学校を小学校が使うことは可能である。

松尾中案も提案されたようだが後何年使えるのか、規模的に問題ないか。

松尾中は築35年経過しており、後30年程度の耐用年数となっている。松尾中は、生徒が一番多いときが260人程度であったが、今想定している人数は350人程度であり使うことになれば仮設校舎を建てるか増築しなければならない。

2. 統合までのスケジュールについて

統合(開校)は何年を予定しているのか。

開校は、候補地決定から8年を予定している。

統合を進めるには時間がかかることになっているが、一旦どこかに集めることも必要だと考える。

少しでも早く共同生活を始めた方がいいのではないかと意見を沢山頂いている。一旦西根中に集める案と松尾中に集めそのまま使う案が提案されている。その場合であっても、様々取り組まなければならないことがあり2.3年はかかることになる。

3. 候補地について

新設校の参考としている中学校はあるのか。

様々などところから情報収集している。

建設候補地の周辺の住宅地などの開発は検討しているのか。

候補地が決定したら検討したい。

西根中案に建設するのであれば、その間の学校生活はどうするのか。

現在の生活をそのまま続けながら現在のテニスコート付近に建設し、建設が完了したら移ってもらうことになる。

西根中案は、体育館を残したまま校舎を建設するのか。

体育館は、校舎と渡り廊下等で接続することで考えている。

西根中案は、体育活動が難しくなるのか。

体育館はそのまま使えるが、校庭での体育活動等には相当な影響があるのではないかと考えている。

4. 評価基準について

(スクールバス等通学について)

スクールバス運行の台数はどのような考えか。

運行台数は、候補地毎に人数で試算している。ルートを検討すると台数は変わる可能性がある。

3中学校が統合になればスクールバス台数が多くなると思うが時間帯、人材確保などをどう考えているのか。

運行方法は、委託か直営を含め建設地が決定したら検討する。

(建設規模等について)

生徒は何人を想定しているのか。

現時点の小学生1～3年生の児童数353人、1学年4クラス、12クラス規模で試算している。建設地が決定したら改めて試算し、開校時の生徒数で建設する予定である。

建設工事費が40億円、西根中案だと30億円と試算されているが内容は。

市外で近年建設された中学校を参考に試算している。西根中案には、用地費・整地費等が除かれている。また体育館を有効活用することになっている。

建設する財源は。

国の交付金と有利な起債を活用したいと考えている。

(その他評価基準への意見等について)

学校行事などのための駐車スペースは考えているのか。

建設用地は、現在の中学校や県内で統合した中学校等を参考に35,000㎡～40,000㎡としており、学校行事等の駐車スペースは確保できるものと考えている。

放課後の子供たちの待機場所は考えているのか。

待機場所は、評価基準で想定した評価としている。

様々な災害対策や避難所としての利用を想定して建設するのか。

災害が発生した場合の安全確保は考えて建設していく。

(新たな評価案等について)

学校プールは作るのか。水泳授業は続けていくのか。

学校プールは大きな問題を抱えている。プールを建設しないで既存のプールを活用してどうかとの意見もあるので、今後検討しなければならないと考えている。水泳授業は大事にしていきたいと考えている。

建設候補地全般に街路灯が少ないような気がするがどのような考えか。

どの候補地になっても子供たちが安心して登下校できるよう街路灯・歩道などには、関係機関と連携し配慮していく。

5. 統合の進め方等について

どのようなビジョンをもって統合を進めるのかは大事である。それによって建設場所が決められるのではないか。

八幡平市を支え築く人材を育てていくことがこれからの中学校に求められることだと思っている。八幡平市の大自然・人・土地に誇りを持ちながら、八幡平市を自分たちで盛り上げていくものだとの思いを持った子供たちを育てていくことが私たちの第一の願いである。そのためにも子供たちが伸び伸びと活動し、その中で切磋琢磨し互いに高め合い故郷への愛情や人間性を高め、社会のどこにでも対等に向き合っていけるような総合的に考えられるような学校づくりになっていけばいいと願っている。

統合中学校の構想をかためるためには、校長先生や関わる先生方の思いや願い。生徒達の思いや願いを一つに束ねてどんな学校にしたいか夢も聞き取りながら学校づくりを進めていきたいと思っている。

6. 小学校統合について

小学校の合併は、中学校統合が終わってからとなるのか。

松尾地区3小学校のPTA皆様から統合を可能な限り急いでほしいと117名の署名入りを添えて要望を受けている。中学校統合と並行して考えていきたい。

松尾地区の3小学校が統合するのであれば小中学校としていく考えはなかったのか。

小中一貫校にしても中学生が増えるわけではない。やりたい部活動ができないことや子供たち同士での議論に制約があることなどから現時点では3中学校を統合する方向で進んでいる。

松尾地区3小学校の統合要望はスピード感があってよかったが、実現可能なものか。

松尾地区3小学校を統合し松野小を使うのであれば丸2年あれば可能である。

小学校統合の大更小、田頭小、平笠小3校統合は教育委員会が決めたことか。

第2期適正配置計画において統合案として示しているもので決まっているものではない。統合校の建設場所も白紙状態である。